

今後の幼児教育の教育課程、指導、評価等の在り方に関する有識者検討会

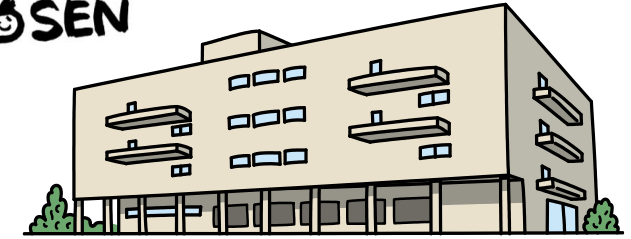
札幌市の幼児教育の振興を図るしくみ ～幼児教育センターと研究実践園～

札幌市教育委員会 児童生徒担当部

幼児教育センター担当課 本間 真純

令和6年3月21日(木)





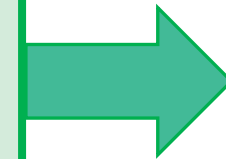
札幌市幼児教育センター

平成20年度設置

札幌市教育委員会

- 生涯学習部
 - ・総務課
 - ・生涯学習推進課
- 学校施設担当部
 - ・学校施設課
 - ・保健給食課

- 学校教育部
 - ・教育推進課
 - ・学びの支援担当課
 - ・教育課程担当課
 - 児童生徒担当部**
 - ・児童生徒担当課
 - ・教育相談担当課
 - ・**幼児教育センター担当課**
- 教職員担当部
 - ・教職員課
 - ・教職員育成担当課
- 労務担当部
 - ・労務担当課



- 学校教育部
 - ・教育推進課
 - ・学びの支援担当課
 - ・教育課程担当課
 - 児童生徒担当部**
 - ・児童生徒担当課
 - ・教育相談担当課
 - 幼児教育相談担当係**
 - 教職員担当部**
 - ・教職員課
 - ・教職員育成担当課
 - 幼児教育担当課**
- 労務担当部
 - ・労務担当課

幼児教育センター



札幌市の幼児教育の振興を図るしくみ

新たな
スタート！

つながる
ひろがる

札幌市立幼稚園・認定こども園が果たしてきた役割
幼児教育施設と連携し、札幌市全体の幼児教育の質の
向上を図る重要な役割を担っている

私立の幼児教育施設を
支える

平成20年度
幼児教育センター
設置

平成23年度
市立幼稚園・
認定こども園
研究実践園化

平成26年度
「札幌市教育振興
基本計画」スタート

平成27年度
「子ども・子育て支
援新制度」スタート

令和元年度
幼児教育の
無償化施行

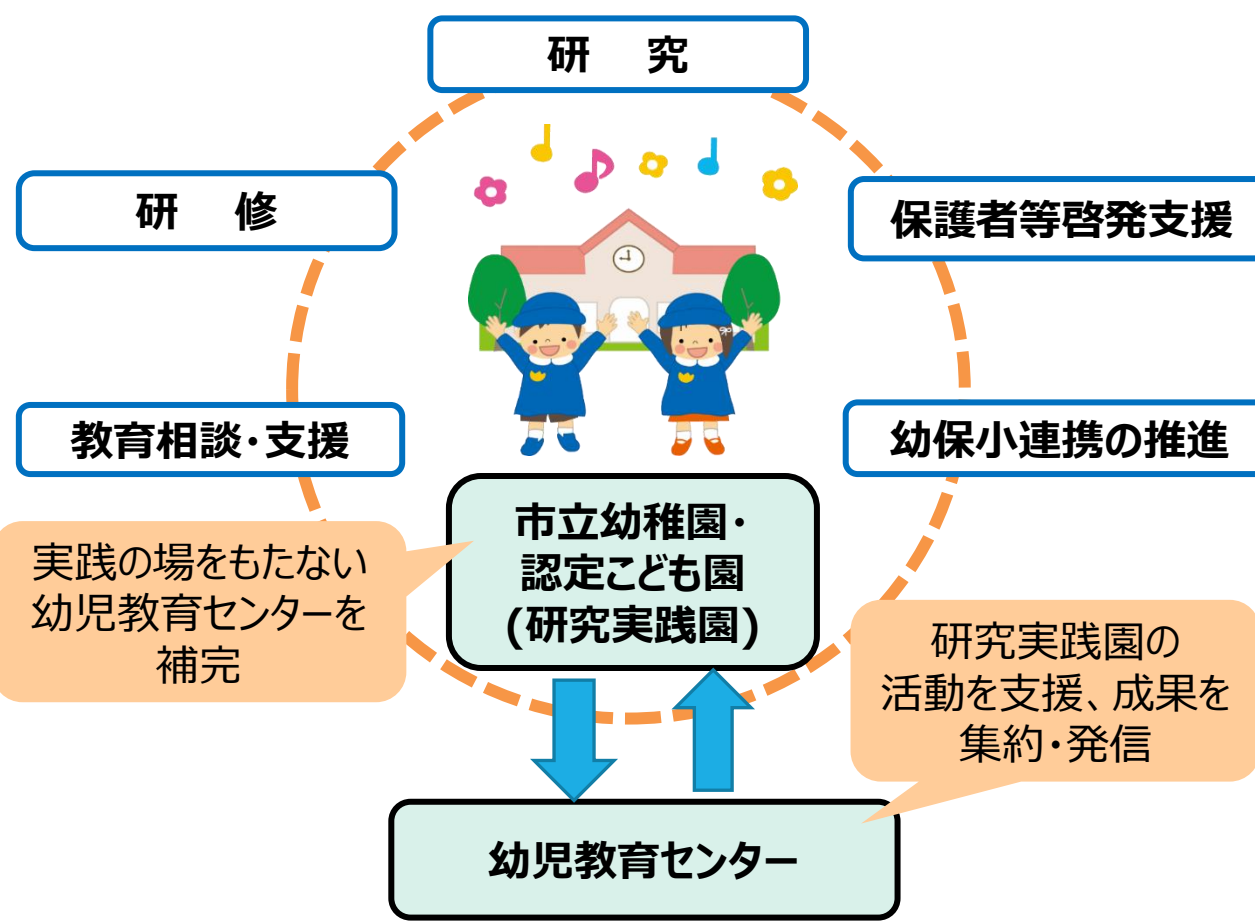
令和2年度
市立幼稚園の
今後の在り方に
関する方針策定

札幌市における幼児教育の将来像
つながる ひろがる 札幌市の幼児教育



札幌市の幼児教育の振興を図るしくみの経緯

幼児教育センターと研究実践園（市立幼稚園・認定こども園）の役割



- 幼児教育センター：研究実践園を統括
- 研究実践園：幼児教育センターの補完的業務を担う

研究実践園業務を
中心的に担う

園長→区幼児教育コーディネーター
園長が任命した教諭→幼児教育支援員

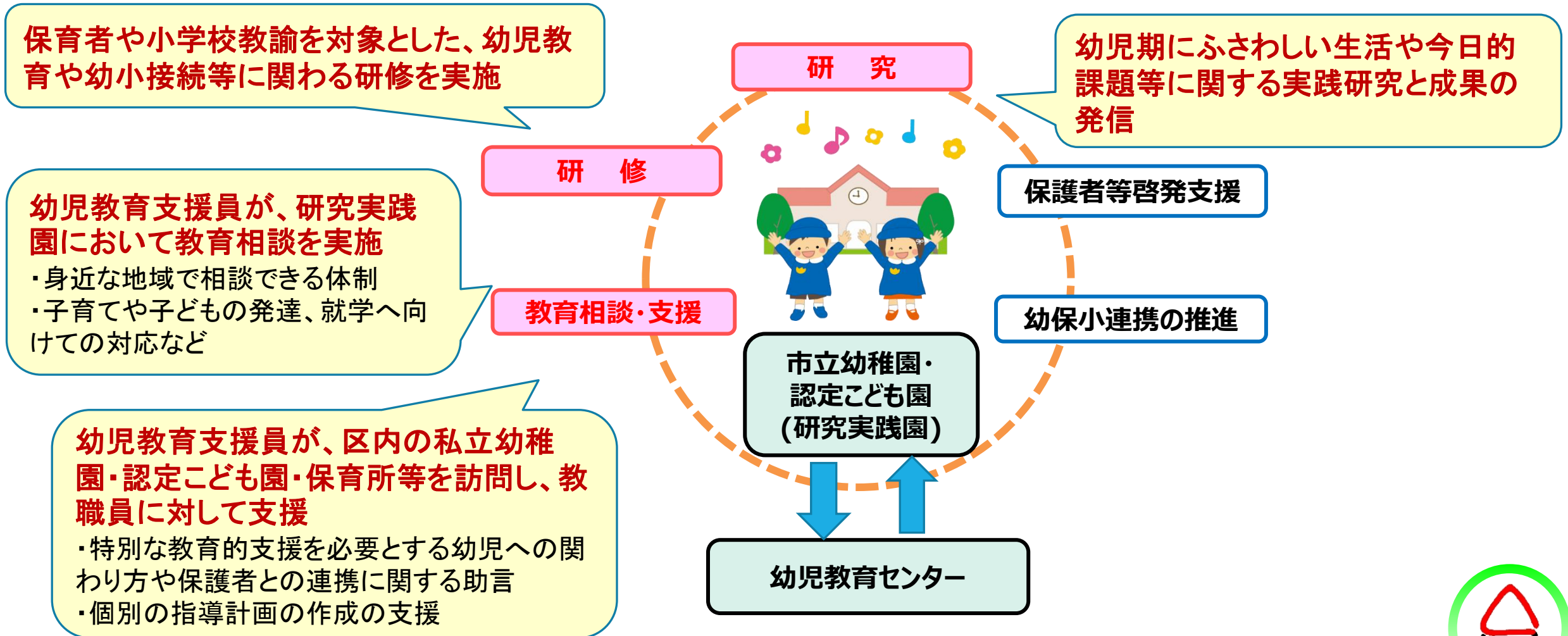
私立の幼児教育施設と連携し、
札幌市全体の幼児教育の質の向上を目指す

連携する施設	施設数
私立幼稚園	64園
私立認定こども園	210園
市保育所	18園
私立保育所	182園
（令和5年度）	



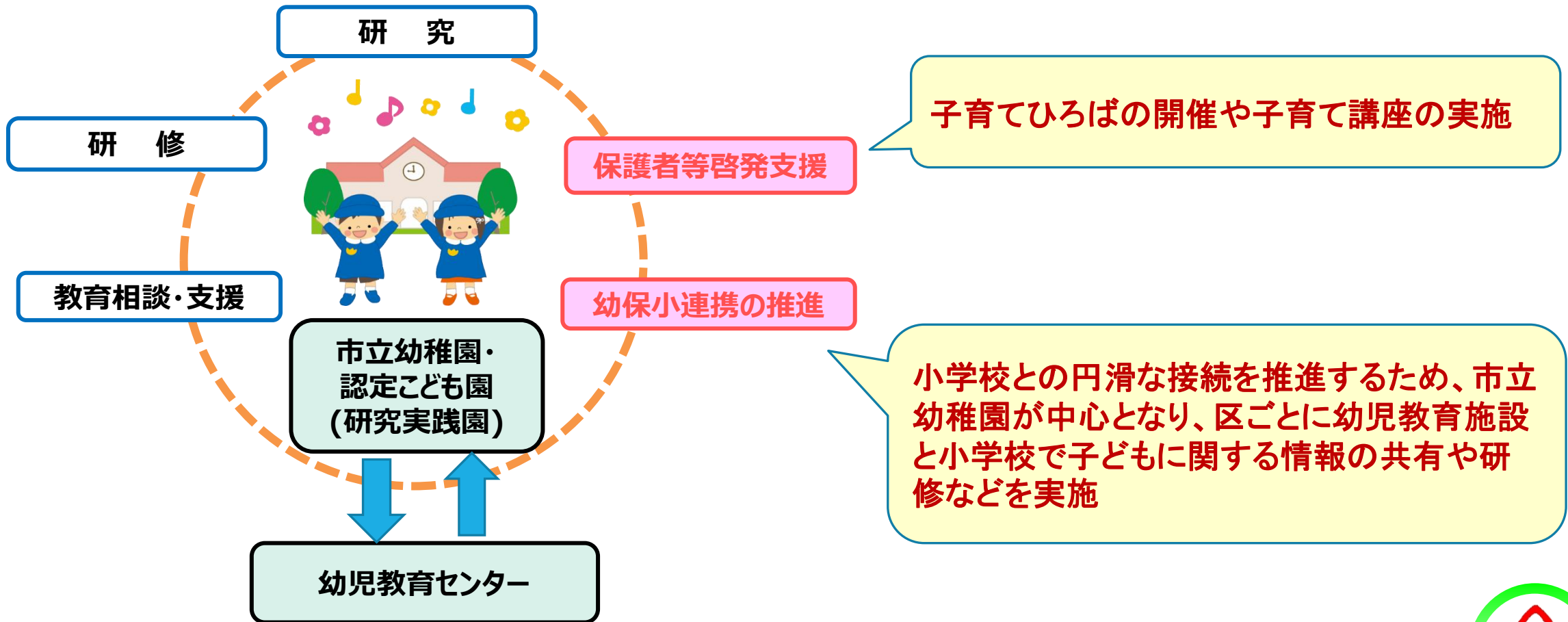
幼児教育センターと研究実践園（市立幼稚園・認定こども園）

5つの機能



幼児教育センターと研究実践園（市立幼稚園・認定こども園）

5つの機能



札幌市立きくすいもとまち幼稚園 令和4年度研究通信 まとめ

きくすいもとパワー

きくすいもとまち幼稚園で札幌市研究実践園として一年間取り組んでまいりました研究の「成果と課題」について簡単に御報告いたします。

- 研究主題 質の高い幼児教育の実現に向けて ~つながる ひろがる 札幌市の幼児教育~
- 副主題 白石区/厚別区 ~遊びを通じた幼児期の学びとは~
- 研究の視点 主体的、対話的に学びの充実

＜きくすいもとまち幼稚園の研究の重点＞
一人一人が集団の中でよさを発揮し、学びを深めるための環境づくりと援助
～年齢の枠を超えた関わりを通して～

年齢の枠を超えた関わりを意識して実践してきた成果と課題は...

子どもの育ちや学び

年長は相手の思いを推し量って関わることを学び、頼りにされることで自己肯定感、自己有用感が育った。

年長としてやってあげる心地よさだけではなく、逆に年少からしてもらうことにも心を動かさし、気持ちを表すようになってほしい。

年中は年長に憧れて真似てきたことを、年少に同じようにやってあげることで人の関わりを学んだ。

年少は大人との関わりでは得られない、質の違う安心感をもったようだ。

コロナの影響で、一緒に過ごす時間がない中、卒業に向けて5年生が送る会の準備をしたり、6年生が学校や下級生のために奉仕活動を行ったりする際、「互いにありがとうの気持ちを感じているのかな?」と思うこともある。普段から一緒に過ごしていることで、在校生が一生涯懸命に、6年生が喜んで受け取っている。

教師の援助や環境の構成

互いの姿や遊びが目に見えるように環境を構成。園庭のテラスやホール、ホールやコナラが効果的だった。次年度は自ら関わる環境の在り方をもっと工夫しては?

保育前、保育後の打ち合わせで、遊びの内容だけでなく、他クラスの子どもの様子を知ることができた。

保育中にその場で柔軟に連携してきた。教師同士が親しくしていることは子どもにとって安心できる。

教師みんなが子ども全員の顔と名前、その子らしさやよさが分かる。自分を知ってくれている安心感がある。

教師の振り返りをもとに統合を深めました!

札幌市立南郷小学校 教諭 松田 篤 先生

幼稚園と学校では規模が違うので同じようにはできないが、どの教師も同じ関わりをすることで子どもは安心する。教師間で情報交換することで、どの子にも声をかけてみようという気持ちになるのではないかと。

白石区研究実践園 研究アドバイザー
札幌大学女子短大大学部こども学科
教授 阿部 宏行 先生より

実際に保育を見て御助言をいただきました。



子どもはいつも大人を見上げる、大人から見下ろされる体験で生活しています。人形遊びや模型などでは、子どもが、上から見下ろす世界だから楽しいのです。

子どもを見ている先生から
子どもが見えている先生に
(佐伯 幹先生の言葉)

保育の振り返りから学ぶことの
大切さを再確認しました。



子どもは「私」というときに気づく。

ドッジボールでは、ボールの取り合いをじゃんけんで解決したり、当たったかどうかを周りの意見を聞いて判断したりしていました。また、終わる時間を多岐決で決めていました。初めからスケジュールが決まっている生活の中では見られない姿です。

きくすいもとまち幼稚園の研究を通して

- *「成長」とは、子どもの視点で見ると「背伸びとジャンプ」である。はないということ。失敗してもよい道所であること。その中で挑戦
- *職員室が子どもの話で盛り上がる明るく元気のいい雰囲気幼稚園であることを子どもは見ている。
- *子どもからの目線では「先生が大好き」が大切。聞いてくれる、共感してくれることが大前提です。
- *教師の関わりは年長になっていくにつれて「フェードインとフェードアウト」を出し、子どもが解決に向かったら少し離れて見守る。

子どもと遊びの見取りについてアドバイスをいただきました

お知らせ

令和4年度の研究のまとめとして「一人一人がよさを発揮し学びを深めるきくすいもとまち幼稚園の生活」を発行します。区内の幼稚園、こども園、保育所、小学校にお送りしますので、ぜひ一読ください。

「訪問研修」に伺います

「日々の保育の話を園の先生方から聴いてみたい」「園外で研修会を開催したいけれど、どのように取り組んだらいいのだろう」「園外の研修に出かけたくても、なかなか研修が取れない」等の思いはありますか。

市立幼稚園 (研究実践園) 教諭が、真摯に訪問し、園内研修に協力します。

例えば、「幼児教育の質の向上」が注目されています。保育の質の向上は、園の先生方同士で保育について語り合うことから始まると思えます。ぜひお声掛けください。

子どもの理解・遊び

子どもの遊びから思いを読み取って、援助や環境構成を考えます。

子どもの姿を語り合おう

保育の語り・環境の構成 夢中になって遊ぶ環境の構成を考えよう

一人一人に寄り添い、共に育ち合う園づくりのために

インクルーシブな環境づくりを一緒に考えよう。一人一人の子どもの個性や強みを生かす環境づくりを一緒に考えよう。

+ 申込された園の事務などと一緒に研修をすることが可能です。

申込方法 (1回につき一つの研修テーマになります)

- 1 研修の目的 (例) 書きこきを考えてください
- 2 研修の場、アンケートにご協力ください
- 3 研修後、アンケートにご協力ください

申込窓口

札幌市立南郷小学校 教諭 松田 篤 先生

TEL: 671-3454 FAX: 671-3247

メールアドレス: youjikyoku@city.sapporo.jp

申込用紙ダウンロード URL: https://www.city.sapporo.jp/kyoku/youjikyoku/yousennin/kankyu_2.html

研修のメリット

- ・子どもの遊びや生活の様子を観察し、その遊びのどんなことを楽しんでいるのかを尋ねてみる。
- ・子どもの遊びや生活の様子を観察し、その遊びのどんなことを楽しんでいるのかを尋ねてみる。
- ・子どもの遊びや生活の様子を観察し、その遊びのどんなことを楽しんでいるのかを尋ねてみる。



幼児の教育相談

こんなことが心配なとき...
 ◇発達の様子に気になる
 ◇ことばや発音が気になる
 ◇落ち着きがなくて...
 ◇友達関係で困っている

こんな情報を知りたいとき...
 ◇幼稚園のこと...
 ◇小学校入学について

こんな相談をお受けしています
 ◎お子さんへの関わり方等と一緒に考えます。
 ◎園や学校の生活に関する情報をお伝えします。
 ◎就学相談の手続きを行います。

電話相談 受付 月曜日～金曜日（祝日・年末年始を除く）
 8時45分～17時15分

来所相談 電話での予約が必要です。

下のいずれかで相談をお受けします。相談場所・所在地は裏面をご覧ください。

札幌市幼児教育センター
 ☎671-3454

各区の研究実践園
 (市立幼稚園・市立認定こども園)
 ※各園の電話番号は裏面をご覧ください。



まずは、お電話ください！

相談は無料です。
 相談の秘密は守ります。

札幌市幼児教育センター
 〒063-0051 札幌市西区宮の沢1条1丁目1-10 ちえりあ2階
 ☎063-0051 札幌市西区宮の沢1条1丁目1-10 ちえりあ2階
 Tel (011) 671-3454 Fax (011) 671-3454
<https://www.city.sapporo.jp/kyoiku/kyoikuseisaku/>
 このウェブサイトは幼児教育センターホームページのサブページとして作成されています。

来所相談

札幌市幼児教育センター 札幌市西区宮の沢1条1丁目1-10
 札幌市生涯学習総合センター「ちえりあ」2階
 011-671-3454

- 地下鉄：地下鉄東西線「宮の沢駅」より 地下通路を「ちえりあ」の表示にしたがって徒歩 7～8分
- バス：「宮の沢」バス停より 地下通路を「ちえりあ」の表示にしたがって徒歩 5～6分
- 自家用車：「ちえりあ」の北西側に教育相談専用駐車場があります。旧ら線路を札幌方面から右折（小樽方面からは左折）進みます。予約電話の際にご確認ください。



各区の研究実践園 各区の市立幼稚園・市立認定こども園で教育相談を受けることができます。
 来所相談予約 (8:45～16:45) は、各園で直接申し込みいただけます。

ポロップひろば (未就学児の子育て広場)

北区 白樺幼稚園 TEL: 736-0764

東区 ひがしなえぼ幼稚園 TEL: 782-8640

手稲区 手稲中央幼稚園 TEL: 681-2298

白石区 きくすいもとま幼稚園 TEL: 873-2285

西区 はまなす幼稚園 TEL: 666-9477

厚別区 あつべつきた幼稚園 TEL: 895-0523

中央区 中央幼稚園 TEL: 251-6700

豊平区 かつこう幼稚園 TEL: 852-1230

南区 もい幼稚園 TEL: 571-5850

清田区 認定こども園にしじろ TEL: 883-3345

市立幼稚園・市立認定こども園 子育て支援事業

ポロップひろば



ポロップひろばってなに？
 未就学のお子さんとその保護者を対象とした子育て広場です。
 ☆園舎や園庭で遊ぶことができます。
 ☆子育て相談や就園・就学に向けた教育相談ができます。
 ☆保護者同士の交流ができます。
 ☆区内の子育てに関する情報があります。

どこでやってるの？
 各区の市立幼稚園・市立認定こども園で、月1回程度開催します。
 ☆全園どこでも参加できます。
 ☆参加の届けを対象として傷害保険に入ります。
 ☆活動に応じて、材料費等を実費負担いただくことがあります。

区	園名	住所	連絡先	区	園名	住所	連絡先
中央	中央幼稚園	北2条西11丁目	251-6700	豊平	かつこう幼稚園	月寒東3条7丁目	852-1230
北	白樺幼稚園	北24条西7丁目	736-0764	南	もい幼稚園	川田18条2丁目	571-5850
東	ひがしなえぼ幼稚園	東5条西4条2丁目	782-8640	西	はまなす幼稚園	美幌6条12丁目	666-9477
白石	きくすいもとま幼稚園	清水元町6条1丁目	873-2285	手稲	手稲中央幼稚園	手稲本町2条5丁目	681-2298
厚別	あつべつきた幼稚園	厚別北3条3丁目	895-0523	清田	認定こども園にしじろ	清田2条1丁目	883-3345

開催日時につきましては、各園にお問合せいただくか、各園のホームページをご覧ください。

札幌市幼児教育センター
 〒063-0051 札幌市西区宮の沢1条1丁目1-10 ちえりあ内
 ☎671-3454 (教育相談専用)
<https://www.city.sapporo.jp/kyoiku/kyoikuseisaku/>
 このウェブサイトは幼児教育センターホームページよりダウンロードできます。
 左記コードで「保護者等支援」のページにアクセスできます。

さっぽろっ子「学び」のススメ

子どもは、どの子もよき可能性をもっています。
 大人は子どもを他の子どもと比較するのではなく、その子自身の成長を認めていくことが大切です。
 幼稚園・こども園・保育所で、家庭で、子どもに寄り添い、伸びを認め、意欲を高める
 共感的・肯定的なメッセージを伝え、子どもの成長を促していきましょう。

まほうのかいわ 学びの土台づくり

ま 毎日の「遊び」で楽しかったことを振り返り共感しましょう。

ほ 方法に気付くように、一緒に考えましょう。

の 伸びを一緒に喜び、ほめましょう。

かい 改善する気持ち(意欲)をもてるように、生活を一緒に振り返りましょう。

わ わかったこと、できたことを認め、もっと挑戦できるようにしましょう。

【幼児版】

さっぽろっ子「学び」のススメは、子どもと家庭、子どもと園、園と家庭をつなぐとともに、子どもの権利を大切にするものです。

まほうのかいわ

幼稚園・こども園・保育所 連携 「遊び」に、「学び」です！

大切な5つのポイント

- 「遊び」に没頭する中で気付いたことやわかったことを生かす力を伸ばします。
- 自分で「遊び」を進める方法や、友達と一緒に遊ぶ方法を身に付けられるようになります。
- 自分でできたことに喜びを感じ、新たな目標をもてるようになります。
- 生活の中で、自分のことは自分でできる力を積み上げます。
- いろいろなことに挑戦する意欲を伸ばします。

子どもの興味・関心に「気付き、そのよさを伝えるためには？」
 「～が楽しいんだね」「～が好きなんだね」「～ができるようになりたいんだね」

子どもの気持ちや思いを「受けとめる」ためには？」
 「～っておもしろいね」「その気持ち、わかるよ」「～のことが、心配なんだね」

子どもの意欲を「育む」ためには？」
 「こうしたら、うまくいくんじゃないかな」「自分の方法で、やってみよう」「おもしろそうだね。どうやってたの？」「失敗しても、やり直せばいいよ」

コロナ禍での子どもの安心を「守る」ためには？」
 「だいじょうぶ、いつもそばにいるよ」「今日も一緒に遊ぼうよ」「体を動かして遊ぶと、気持ちがいいね」

情報機器(ICT)を「活用する」ためには？」
 「一緒に～のことを調べてみようか」「写真やビデオを撮ってみんなに知らせよう」「(撮ったものを見ながら)ここが素敵だね。こんな工夫をしたんだね」「あと一つ見たら、おしまいだよ」

毎日の「遊び」で楽しかったことを振り返り共感しましょう。

方法に気付くように一緒に考えましょう。

伸びを一緒に喜び、ほめましょう。

改善する気持ち(意欲)をもてるように、生活を一緒に振り返りましょう。

わかったこと、できたことを認め、もっと挑戦できるようにしましょう。

おうちの人と一緒にやりたいことやがんばりたいこと 一年間を振り返って (おうちの時から)



各区研究実践園を中心に幼保小の連携を推進
より組織的、機能的、継続的に体制整備を行う

幼保小連携推進協議会

各区に協議会を設置し、幼保小の管理者・教職員の定期的な会を実施

札幌市幼保小連携推進協議会
～各区のとりまとめと全市の連携推進～

10区で連携推進



札幌市幼保小連携推進協議会（年1回開催）

区幼保小連携推進協議会（年3回程度開催）

- 1回目 幼保小の管理者・教職員の顔合わせ
交流計画
- 2回目 全体研修（講演会等）
実践交流
- 3回目 区幼保小連絡会

考えられるメリット・効果

子どもの
入学前後の情報交換

子どもの
交流活動の充実

幼保小の一貫性
のある教育活動

教職員の相互理解

幼保小連携モデル園・校事業



- 発信・共有
- 全市学習会開催（年1回）
- ハンドブック作成（令和5年度）



札幌市における幼児教育の将来像
つながる ひろがる 札幌市の幼児教育



札幌市幼児教育センター
マスコットキャラクター ようせんちゃん